B.BEST 共通操作マニュアル

BEST-P

The BEST Program

1 は	じめに1
1.1	開発経緯1
(1)	開発の背景1
(2)	開発の意義1
1.2	本書の特徴2
1.3	免責事項2
1.4	使用環境3
1.5	BEST-Pのインストール4
(1)	Java Runtime Environment ${\it O}{\it f}{\it v}{\it A}{\it b}{\it -}{\it l}{\it l}$ 4
(2)	Java3D のインストール7
(3)	BEST-P のインストール9
(4)	BEST-P のアンインストール14
2 H	ello BEST-P !15
2.1	プログラムの起動15
2.2	サンプルデータの読み込み15
2.3	シミュレーションの実行16
2.4	計算結果の表示17
(1)	テーブル表示17
(2)	グラフ表示18
(3)	3 D グラフ表示19
2.5	物件ファイルの保存20
2.6	プログラムの終了21
3 G	UIの構成22
3.1	画面レイアウト
(1)	メニュー
(2)	マスタ情報ツリー22
(3)	ワーク情報ツリー22
	作成 2008/03/28
	更新 2009/06/27

3.2	メニュー紹介2	3
(1)	【ファイル】メニュー2	3
(2)	【表示】メニュー2	3
(3)	【計算実行】メニュー2	3
(4)	【結果出力】メニュー2	3
(5)	【ヘルプ】メニュー2	3
4 入	カデータの作成2	24
4.1	操作・作業の基本の流れ2	4
4.2	シミュレート対象物件の新規作成	4
4.3	作成済み物件ファイルの読込み2	5
4.4	共通情報の登録2	6
(1)	気象データエレメント2	6
(2)	計算範囲データの設定2	7
4.5	登録データの編集2	8
4.6	建築エレメントの登録2	9
(1)	基本エレメントの登録2	9
(2)	ゾーンの準備と設定3	0
(3)	要素のエレメント登録3	0
(4)	室グループ、室、ゾーンのコピー方法	1
(5)	ー括仕様設定のエレメント登録3	1
4.7	設備モジュールの登録3	3
(1)	設備のモジュール登録3	3
(2)	モジュールの接続3	4
5 そ	·の他3	86
5.1	計算順序3	6
(1)	新規の計算順序ファイルを作成3	6
(2)	計算順序ファイルの編集3	6
5.2	帳票出力	7
5.3	モジュール・エレメントの自動更新	8
(1)	フォーマット更新確認3	8
(2)	フォーマット更新確認メッセージの切り替え3	8
5.4	ヘルプ表示	0

1 はじめに

1.1 開発経緯

(1) 開発の背景

京都議定書の発効に伴い、建築分野における省エネルギーが大きな課題となっています。 我 が国では 1970 年代における二度のオイルショックを契機に、「エネルギーの使用の 合理化に関 する法律」(以下「省エネ法」という。)が整備され、あわせて、 PAL や CEC といった建築や設 備の性能基準が定められ、建築分野における省エネルギー対策 が推進されています。

また、既に膨大な建築ストックが存在する現状において、これまで以上の省エネルギーを 推 進するためには、ストック対策の重要性が増大しています。このため、省エネ法が改正 され、 一定規模以上の建築物を新築する場合に加え、大規模修繕等を行う場合も所管行政庁 へ届け出 る措置が講じられました。

これらの対策に対応するためには、新築建築物とあわせて既存建築物にも適用できる 総合的 なエネルギー消費量の算出ツールが必要です。このため、当財団においては、 国土交通省の支 援を受けて、「環境負荷削減のための建築物の総合的なエネルギー 消費量算出ツール開発のため のガイドラインに関する研究」を実施することとして いますが、その成果を踏まえ、企画・設 計段階から運用段階にわたる建築物の 総合的なエネルギー消費量算出ツールの開発及び普及を 図る必要があります。

これらから、財団では関係諸団体の協賛を得てエネルギー消費量算出ツールの開発・ 普及を 行うこととし、「(仮称)BEST開発普及委員会」(委員長:村上周三 慶応義塾大学 教授)を1 8年度に創設することとしました。

本委員会の成果(汎用プログラムとその維持管理体制)は、我が国の建築設備分野に携わる 全 ての方々にとって極めて有益なものになると期待されるものです(The BEST program(略称: BEST))。

(2) 開発の意義

当財団はこれまで PAL/CEC に係る各種ツールの開発に対して主体的な役割を 担ってきてお り、CEC/AC を求めるための計算プログラム (BECS) も開発してきました。

「ツール開発ガイドライン調査」においては、エネルギー消費量算出ツールに 求める基本性 能・仕様の例として、計算時間間隔を比較的短くすることで自動制御 の同定が行えることや、 実負荷データを用いたシステム評価、時代の変化に 追従容易などを挙げています。

さらに、エネルギー消費量算出ツールは建築分野における地球温暖化防止の基軸である CASBEE評価手法の支援ツールにもなり得るものであり、CASBEEの開発ならびに運営の中心 を担っている当財団が、本事業を実施することの意義は大きいと考えられます。

また、当財団はこのエネルギー消費量算出ツールについて開発とあわせて、 その維持管理を 行い、継続的にツールサービスとバージョンアップを行うことと しています。 1 はじめに

1.2 本書の特徴

本書は、BEST-P(The BEST Program)の導入から全体操作の説明を中心に記載しています。従って 設備や建物で計算するモジュールやエレメントに関しての詳細な説明や詳細な操作については他の取扱 説明書をご参照下さい。また本書の説明内容を補足する意味で以下のようなマークを利用しています。



パ「エレメント」とは共通・建築の計算で利用する要素(ダイアログ画面)を指します。「モジュール」とは設備の計算で利用する機器(ダイアログ画面)を指します。

1.3 免責事項

- 本ソフトウェアは日本国著作権法および国際条約により保護されています。この製品の全部 または一部を無断で複製したり、無断で複製物を配布したりすると、著作権の侵害となりま す。
- 本ソフトウェアを構成するコンポーネントの著作権の帰属は下記のとおりです。
 - The BEST Program は(財)建築環境・省エネルギー機構(IBEC)に属します。
 (再配布ライブラリを除きます。)
- また、以下のものは第三者が所有するデータもしくはソフトウェアであり、本ソフトウェアの著作権の対象外です。
 - ・The BEST Program のインストールにより以下のライブラリが再配布されます。これら
 - は、それぞれのライセンスに従い再配布が可能です。
 - 配布元 ant.jar: Apache Software Fundation (<u>http://www.apache.org/licenses/</u>)
 - · 配布元 jcommon-1.0.10.jar · jfreechart-1.0.6.jar : JFreeChart (<u>http://www.jfree.org/jfreechart/</u>)
 - •配布元 toplink-essentials.jar: GlassFish (<u>https://glassfish.dev.java.net/javaee5/persistence/</u>)
 - 配布元 vecmath.jar: Sun Microsystems (<u>https://java3d.dev.java.net/#Licenses</u>)
 - 配布元 avalon-framework-4.2.0.jar · commons-io-1.3.1.jar · commons-logging-1.0.4.jar fop.jar · log4j-1.2.15.jar · xmlgraphics-commons-1.3.jar : ApacheSoftwareFundation (<u>http://www.apache.org/licenses/</u>)
- 本ソフトウェアの内容・仕様は、訂正・改善のため予告なく変更することがあります。
- 本ソフトウェアを運用した結果の影響については一切責任を負いかねますのでご了承ください。

本ソフトウェアは、下記の使用環境にて動作確認をしています。(その他のバージョンについて は未確認です。)

• OS

- WindowsXP
- 日本語入力システム
 - ・Microsoft IME スタンダード 2003
 - ・Microsoft ナチュラルインプット 2003
- Java Runtime Environment
 - JRE1.6.0_05
- また、推奨動作環境は以下の通りです。
- OS
 - ・Microsoft Windows XP Professional または HomeEdition SP2 以上
- コンピュータ本体
 - ・Intel(R)Core(TM)2 CPU 相当 以上を推奨
- メモリ
 - ・1.0GB以上を推奨

JAVA jreを、すでに設定済のパソコンでは正常に動作しない場合があります。 OSの環境変数でJAVAのパスを指定していないPCにBEST Pをインストールする ことをお勧めいたします。 1 はじめに

1.5 BEST-P のインストール

BEST-P (The BEST Program)をパソコンでご利用になるには、「Java Runtime Environment」 「BEST P」の3種類の JAR ファイルをインストールする必要があります。 ^r Java3D

- (1) Java Runtime Environment のインストール パソコンに Java Runtime Environment (1.6.0.05) が既にインストールされている場合は、こ のステップを飛ばして(2)に進んでください。
 - Java Runtime Environment を SUN のホームページ (下記 URL)から Java Runtime Environment (1.6.0.05 以上)をダウンロードしてください。(以下は 2008/3/28 現在のダウンロ ード画面です。現在と必ずしも一致しません。) http://java.sun.com/javase/downloads/index.jsp



図 1-1 JRE ダウンロード画面

●クリックします

Sun.	Sun Downlo	ads	5 5	earch 🔊
Download				
	Java S	E Runtime Environment 6 Update 5		
	NOTE: T We high success button to For any How Ion	his page offers files for different platforms - please be sure to do ly recommend using Sun Download Manager (SDM), as it lets you ful download experience. Just select the files you want to downlo automatically install and start SDM. Alternately, click directly on the download problems or questions, please see the Download Cen- g will the download take?	wnload the proper file(s) for your platform. u pause, resume, and restart your download whil ad, then click the "Download Selected with Sun D ae links in the file list to download through your br ter FAQ.	e ensuring a ownload Manager owser.
	Require C Acce C Decl	# You must accept the license agreement to download the produ ept License Agreement Review License Agreement ine License Agreement	ict.	
Accept」を選択しま	₫. 	Download selected with Sun Download Manager	Easily manage your downloads (pause, resur » Learn more	ne, restart, verify).
	Windov	vs Platform - Java SE Runtime Environment 6 Update 5		
	N B			
		⊻ Windows Offline Installation, Multi-language	jre-6u5-windows-i586-p.exe	15.18 MB
		✤ Windows Online Installation, Multi-language	jre-6u5-windows-i586-p-iftw.exe	373.39 KB

図 1-2 使用許諾同意画面



- ❷ダウンロードした jre-6u5-windows-i586-p.exe をマウスでダブルクリックし、インストールを開始します。(インストーラーが自動的に起動します)
- ●インストールを開始すると図 1-4の画面が表示されるので《同意する》ボタンをクリックして下さい。

侵 Java セットアップ - ようこそ	×	
Java [®]	Java(TM)へようこそ Java (ま、あなたのインターネット生活をより豊かにしま す。ゲームや音楽を楽しんだり、携帯電話でメールを 受信したり、Web カメラを利用してみたり、宇宙につい て調べたり、Java を活用すればどんなこともより楽し く、より効果的になります。	
♦ <u>Sun</u>	使用許諾契約を表示 製品をダウンロードするには、「同意」ボタンをクリックして 使用許諾契約に同意する必要があります。	_● ❸ (同意する) ボタン をクリックします。
□ 詳細設定パネルを表示	[同意しない(D)] 同意する(A) >	

図 1-4 ライセンス使用許諾同意画面

●インストールが終了すると図 1-5の画面が表示されるので《完了》ボタンをクリックして下さい。



図 1-5 セットアップ完了画面

- (2) Java3D のインストール
 - ●「java3d-1_5_1-windows-i586.exe」を下記 URL からダウンロードしてください。(以下は 2008/5/14 現在のダウンロード画面です。現在と必ずしも一致しません。)

https://java3d.dev.java.net/binary-builds.html



- ●ダウンロードした「java3d-1_5_1-windows-i586.exe」をマウスでダブルクリックし、インストールを開始します。(インストーラーが自動的に起動します)
- ●インストールを開始すると図 1-7 の画面が表示されるので《Accept》ボタンをクリックして下さ
 - ι۱,

License Agreement		
Please read the following license agreement carefully.	<i>♦§Sun</i> .	
Sun Microsystems, Inc. ("Sun") ENTITLEMENT for SOFTWARE		
Licensee/Company: Entity receiving Software.		
Effective Date: Date of delivery of the Software to You.		
Software: JAVA 3D, VERSION 1.5.1.		
License Term: Perpetual (subject to termination under the SLA).		● ❸ (Accept) ボタン
Licensed Unit: Software Copy.	-	をクリックします。
nstallShield		

図 1-7 セットアップ完了画面

④図 1-8 の画面が表示され	るので《install》	ボタンをクリ	ックして下さい。
-----------------	--------------	--------	----------

🙀 Java 3D 1.5.1 – Install Confirmation	×
Ready to Install the Program	
The wizard is ready to begin installation.	Sun.
Java3D will be installed into the following locations	
C:¥Program Files¥Java¥Java3D¥1.5.1¥	
C:¥Program Files¥Java¥jre1.6.0_06¥	
C:#WINDOW5¥	
	● ④ (install) ボタン をクリックします。
InstaliShield	Cancel
図 1-8 セットアップ完了画面	

●インストールが終了すると図 1-9 の画面が表示されるので《Finish》ボタンをクリックして下さい。

🙀 Java 3D 1.5.1 - Complete	•	×
لان الله الله الله الله الله الله الله الله	Complete	
	Java 3D 1.5.1 has been successfully installed. Click Finish to exit.	
	● (Finish) ボタン をクリックします。	197
Dpen Readme File	Finish	nem -

図 1-9 セットアップ完了画面

- (3) BEST-P のインストール
 - ●BEST の HP (http://www.ibec.or.jp/best/index.html) にある、「プログラムのダウンロード」ボ タンをクリックし、画面に従ってログインしてください。
 - ❷BEST-P(setup.zip)をダウンロードし任意の場所に解凍してください。
 - ●解凍したできた setup.exe をダブルクリックしてインストールを開始します。
 - ▶ 旧バージョンをご使用の方は、旧バージョンのインストールフォルダを削除もしくはリネイム してから、インストールをお願いいたします。上書きインストールを実施した場合は、旧デー タとサンプルデータが混在するため正しく動作しなくなる場合があります。

●以下の手順に従ってインストールを行います。



デスクトップにアイコンが作成されたら完了です。



図 1-10-7 BEST--Pアイコン

● インストール先をデフォルトの「C:¥BEST」から変更した方は、下記の修正が必要です。(ここでは、インストール先を「D:¥install¥ship」とした場合の例で示します。)

D:¥install¥ship¥gui.bat を右クリックし、表示されたポップアップメニューで《編集》を選択 してメモ帳を起動します。(別のエディタでも結構です。)

図 1-12のリストが表示されます。

デフォルトのインストール先にインストールした方は、●~③ここから先の作業は不要です。 デフォルトとは別の場所にインストールした場合の●~③の作業は、将来は不要となる予定です。

🚞 C:¥install¥ship			
ファイル(E) 編集(E) 表示(V)	お気	(こ入り(<u>A</u>)	
🚱 戻る • 🕥 - 🏂 🔎)検索	🔁 7#Л	
アドレス(D) 🛅 C:¥install¥ship			
名前		サイス	
Files	1		
ED刷(P)		1.260 KE	
ava コピー (FastCopy)		85 KE	
		6,754 KE	
し bes Uhazで圧縮(A)		217 KE	
		82 KE	
(型) cot 送る(N) (2) cot (1) cot (1		38 KE	
「「「「「「」」 「」」「「「」」		2,194 KE 305 KE	
lifre ⊐ピー(<u>C</u>)		1.071 KE	
🗐 log ショートカットの作成(S)		383 KE	
Top 削除(D)		2,389 KE	
Vec 名前の変更(M)		318 KF	
[▲] ×m プロパティ(®)			gui.bat を石クリックして
BootSuptom properties		《約	集 ホタンを選択します。
log4ixml		7 K F	
BEST icon.ico			
📳 hs_err_pid2644.log		17 KE	

図 1-11 GUI.bat の編集

set BEST_INSTRUCTED=C:¥BEST¥Files¥Files_ObjectInfo¥Object001¥Instructed set BEST_SPEC=C:¥BEST¥Files¥Files_ObjectInfo¥Object001¥Result set BEST_RESULT=C:¥BEST¥Files Set BEST_SYSTEM=C:¥BEST¥Files set BEST_WEATHER=C:¥BEST¥KML set BEST_XML=C:¥BEST¥XML set BEST_XSD=C:¥BEST¥XML set BEST_XSD=C:¥BEST¥XML set BEST_ASD=C:¥BEST¥XML set BEST_ASD=C:¥BEST set BEST_ASD set BE

ommons-io-1.3.1.jar;avalon-framework-4.2.0.jar;C:¥BEST jp.or.ibec.best.client.BestGUITool

if errorlevel 9 goto loop1

図 1-12 gui.bat(変更前)

●各パラメータを手持ちのパソコンに合わせます。

set BEST_INSTRUCTED=D:¥install¥ship¥Files¥Files_ObjectInfo¥Object001¥Instructed

set BEST_SPEC=D:\u00e4nstall\u00e4ship\u00e4Files\u00e4Files_ObjectInfo\u00e4Object001\u00e4Instructed

set BEST_RESULT=D:\finstall\fileship\Files\Files_ObjectInfo\fo\bject001\filesult

set BEST_SYSTEM=D:¥install¥ship¥Files

set BEST_WEATHER=D:¥install¥ship¥weather

set BEST_XML=D:¥install¥ship¥XML

set BEST_XSD=D:¥install¥ship¥XML¥xsd

cls

:loop1

java - Xmx768m - cp BestSpring09.jar; "C:¥Program Files¥Java¥Java3D¥1.5.1¥lib¥ext¥j3dcore.jar"; "C:¥Program Files¥Java¥Java3D¥1.5.1¥lib¥ext¥j3dutils.jar"; vecmath.jar; bestWeather.jar; ant.jar; jcommon-1.0.10.jar; jfreechart - 1.0.2.jar; toplink-essentials.jar; fop.jar; log4j-1.2.15.jar; xmlgraphics-commons-1.3.jar; commons-logging-1.0.4.jar; commons-io-1.3.1.jar; avalon-framework-4.2.0.jar; <u>D:¥install¥ship</u> jp.or.ibec.best.client.BestGUITool if errorlevel 9 goto loop1

図 1-13 gui.bat (変更後)

●次に BEST_INSTRUCTED で指定したフォルダの配下にある FileInfo.xml を右クリックし、 表示されたポップアップメニューで《編集》を選択します。

xml version="1.0" encoding="Shift_JIS" standalone="yes"?
<fileinfo xmins="jp.or.ibec.best.xml.building"></fileinfo>
<commondata></commondata>
<path>Common.xml</path>
<scheduledata></scheduledata>
<pathschedule>Schedule.xml</pathschedule>
<buildingdata></buildingdata>
<pathbuilding>building¥building.xml</pathbuilding>
<walidb></walidb>
<pathxml>buildingDB¥wallDB.xml</pathxml>
<windowdb></windowdb>
<path>buildingDB¥windowDB.xml</path>
<path>buildingDB¥AngleIncidence.xml</path>
<spacedata></spacedata>
<path>C:¥BEST¥Files¥Files_ObjectInfo¥Object001¥Instructed¥building¥室グループ(南).xml</path>
<path>C:¥BEST¥Files¥Files_ObjectInfo¥Object001¥Instructed¥building¥室グループ(北).xml</path>
<pathbaseconditions>building¥ZoneBaseConditions.xml</pathbaseconditions>
<zonecontroldata></zonecontroldata>
<path>building¥ZoneControl.xml</path>
<electricdata></electricdata>
<path>C:¥BEST¥Files¥Files_system¥EleData¥Daylight¥昼光照度データ.txt</path>

図 1-14 FileInfo.xml(変更前)

◎と同様に XML ファイルを変更します。以上でインストール作業は完了です。

xml version="1.0" encoding="Shift_JIS" standalone="yes"?
<fileinfo xmins="jp.or.ibec.best.xml.building"></fileinfo>
<commondata></commondata>
<path>Common.xml</path>
<scheduledata></scheduledata>
<pathschedule>Schedule.xml</pathschedule>
<buildingdata></buildingdata>
<pathbuilding>building¥building.xml</pathbuilding>
<walldb></walldb>
<pathxml>buildingDB¥wallDB.xml</pathxml>
<windowdb></windowdb>
<path>buildingDB¥windowDB.xml</path>
<path>buildingDB¥AngleIncidence.xml</path>
<spacedata></spacedata>
<path>D:¥nstall¥ship¥Files¥Files_ObjectInfo¥Object001¥Instructed¥building¥室グループ(南).xml</path>
<path><u>D:¥install¥ship</u>¥Files¥Files_ObjectInfo¥Object001¥Instructed¥building¥室グループ(北).xml</path>
<pathbaseconditions>building¥ZoneBaseConditions.xml</pathbaseconditions>
<zonecontroldata></zonecontroldata>
<path>building¥ZoneControl.xml</path>
<electricdata></electricdata>
<path><mark>D:\Install\Ship</mark>\Files\Files_system\EleData\Daylight\Bと照度データ.txt</path>

図 1-15 FileInfo.xml(変更後)

💼 注意事項

インストール完了後、Java をバージョンアップすると動作しなくなることがあります。インストー ル後は Java のバージョンを上げないようご注意下さい。 1 はじめに

(4) BEST-P のアンインストール
 BEST-P のアンインストールを行いたい場合には、エクスプローラ等をご利用になり、インストールフォルダ(C:¥BEST)とデスクトップに作成されたアイコンを削除してください。

2 Hello BEST-P !

BEST-Pを動かしてみましょう!

ここでは、予め用意された例題を使用して、プログラムの起動、計算、結果表示、終了の動作を説 明します。

画面設定手順などは、「4. 入力データの作成」にお進み下さい。

2.1 プログラムの起動

●画面上の BEST - P アイコンをダブルクリックして、プログラムを起動します。



図 2-1 BEST - P アイコン

2.2 サンプルデータの読み込み

インストール直後に BEST P を起動した場合は、サンプルデータが登録済の状態で表示されますので、この作業は不要です。「2.3 シミュレーションの実行」にお進みください。

プログラムと一緒にアップされている、「sample.zip」を予めダウンロードしておいて下さい。 ●「ファイル」 メニューから、「開く」を選択します。

❷確認画面が表示されますので、「了解」ボタンを選択します。

(作業中の物件を終了したくない場合は、「取り消し」を選択します。)

- ●物件ファイルの選択ダイアログが開いたら、「参照」ボタンより、任意の場所に保存した「sample.zip」を選択します。
- ❹「実行」ボタンをクリックします。

_____● ❶「開く」 をクリックします。

🛃 BEST Object001		<u>_ ×</u>
ファイル(E) 表示(V) 計算実行(E)	結果出力(2) ヘルプ(出)	
新規作成(N)	ワークスペース	
開((0)	共通 建築 設備 計算順序	
	YME 建酸 (at y = 1 g = 1 g = 1 g = 1 g = 1 g = 1 g = 1 g = 1 g = 1 g = 1 g = 1 g = 1 g = 1 g = 1 g = 1 g = 1 g = 1 g = 1 g = 1 g = 1 g = 1 g = 1 g = 1 g = 1 g = 1 g = 1 g = 1 g = 1 g = 1 g = 1 g = 1 g = 1 g = 1 g = 1 g = 1 g = 1 g = 1 g = 1 g = 1 g = 1 g = 1 g = 1 g = 1 g = 1 g = 1 g = 1 g = 1 g = 1 g = 1 g = 1 g = 1 g = 1 g = 1 g = 1 g = 1 g = 1 g = 1 g = 1 g = 1 g = 1 g = 1 g = 1 g = 1 g = 1 g = 1 g = 1 g = 1 g = 1 g = 1 g = 1 g = 1 g = 1 g = 1 g = 1 g = 1 g = 1 g = 1 g = 1 g = 1 g = 1 g = 1 g = 1 g = 1 g = 1 g = 1 g = 1 g = 1 g = 1 g = 1 g = 1 g = 1 g = 1 g = 1 g = 1 g = 1 g = 1 g = 1 g = 1 g = 1 g = 1 g = 1 g = 1 g = 1 g = 1 g = 1 g = 1 g = 1 g = 1 g = 1 g = 1 g = 1 g = 1 g = 1 g = 1 g = 1 g = 1 g = 1 g = 1 g = 1 g = 1 g = 1 g = 1 g = 1 g = 1 g = 1 g = 1 g = 1 g = 1 g = 1 g = 1 g = 1 g = 1 g = 1 g = 1 g = 1 g = 1 g = 1 g = 1 g = 1 g = 1 g = 1 g = 1 g = 1 g = 1 g = 1 g = 1 g = 1 g = 1 g = 1 g = 1 g = 1 g = 1 g = 1 g = 1 g = 1 g = 1 g = 1 g = 1 g = 1 g = 1 g = 1 g = 1 g = 1 g = 1 g = 1 g = 1 g = 1 g = 1 g = 1 g = 1 g = 1 g = 1 g = 1 g = 1 g = 1 g = 1 g = 1 g = 1 g = 1 g = 1 g = 1 g = 1 g = 1 g = 1 g = 1 g = 1 g = 1 g = 1 g = 1 g = 1 g = 1 g = 1 g = 1 g = 1 g = 1 g = 1 g = 1 g = 1 g = 1 g = 1 g = 1 g = 1 g = 1 g = 1 g = 1 g = 1 g = 1 g = 1 g = 1 g = 1 g = 1 g = 1 g = 1 g = 1 g = 1 g = 1 g = 1 g = 1 g = 1 g = 1 g = 1 g = 1 g = 1 g = 1 g = 1 g = 1 g = 1 g = 1 g = 1 g = 1 g = 1 g = 1 g = 1 g = 1 g = 1 g = 1 g = 1 g = 1 g = 1 g = 1 g = 1 g = 1 g = 1 g = 1 g = 1 g = 1 g = 1 g = 1 g = 1 g = 1 g = 1 g = 1 g = 1 g = 1 g = 1 g = 1 g = 1 g = 1 g = 1 g = 1 g = 1 g = 1 g = 1 g = 1 g = 1 g = 1 g = 1 g = 1 g = 1 g = 1 g = 1 g = 1 g = 1 g = 1 g = 1 g = 1 g = 1 g = 1 g = 1 g = 1 g = 1 g = 1 g = 1 g = 1 g = 1 g = 1 g = 1 g = 1 g = 1 g = 1 g = 1 g = 1 g = 1 g = 1 g = 1 g = 1 g = 1 g = 1 g = 1 g = 1 g = 1 g = 1 g = 1 g = 1 g = 1 g = 1 g = 1 g = 1 g = 1 g = 1 g = 1 g = 1 g = 1 g = 1 g = 1 g = 1 g = 1 g = 1 g = 1 g = 1 g = 1 g = 1 g = 1 g = 1 g = 1 g = 1 g = 1 g = 1 g = 1 g = 1 g = 1 g = 1 g = 1 g = 1 g = 1 g = 1	をクリックします。
	別の物件を選択しますか?	
	了解 取消し	

図 2-2 シミュレーションの実行

2 Hello BEST-P !

🛃 BEST Object001		
ファイル(E) 表示(V) 計算実行(E) 結果出力	<u>0) ヘルプ(H)</u>	
マスター	「ワークスペース	
共通 建築 設備	共通 建築 設備 計算順序	
共通データの設定 受索 受 計算範囲 受 計算範囲 受 計算範囲 受 計算範囲 受 計算範囲 受 特別休日 受 年間スケジュール 受 理問スケジュール 受 理問スケジュール 受 運問スケジュール 受 意気が少 コール 受 診療データ保存 受 動件ファイ	共通データの設定 日 気象 日 気象 日 特別休日 日 年間スケジュール 日 要問スケジュール 日 理問スケジュール 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日	● ●「参照」ボタンをクリックし、 「sample.zip」を指定します。
「ファイルス選び ファイル名	suments¥03091¥デスクトップ¥sample.zip 実行 取消	
④「実行」ボタンを クリックします。	•	
义	2-3 シミュレーションの実行	

- 2.3 シミュレーションの実行
 - ●「計算実行」メニューから「シミュレーション実行」を選択すると、「シミュレーション実行」 ダイアログが開きます。
 - ❷「計算順序」をプルダウンより選択します。
 - ●《了解》ボタンをクリックすると計算が開始します。

┏━● ●「計算実行 / シミュレート計算実行」をクリックします。

🕌 BEST Object001		- O ×
ファイル(E) 表示(V) 計算実行(E) 結果出力(Q) ヘルプ(円)	
マスター 計算順序ファイル作成	ワークスペース	
共通 建築 設備 シミュレーション実行	共通 建築 設備 計算順序	
🗁 共通データの設定	🧀 共通データの設定	
田 🗀 気象	田 🗁 気象	
□ 🗁 計算範囲	田・〇 計算範囲	
田 🥥 特別休日		
□ □ □ 年間スケンユール □ □ □ □ 本筋7ケジュール		
田 🦳 学 部 ペッシュール	🗒 🚳 シミュレーション実行	×
田 🗁 時刻変動スケジュール		
□ □ □ □ 設備データ保存		
	2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2	
	計算約7日 12/31	
	助走計管日数 20日	
	0/3 UT 44- 118/18/16	
	※ 計算期間及び計算時間間隔は、「計算範囲ダイアログ」で設定されたものです。	
	※ 建物熱負荷計算のみの場合は、「計算順序の選択」は不要です。	
❷「計笪順序」をプルダウン	より選	
がします。		<u> </u>
■ 建物計算のみの場合には、		
必要ありません。	デノオルドモ具相応	
	マンション美行しますか?	
	了解取消し	
● (了解)ボタン	をクリックします。	

図 2-4 シミュレーションの実行

2.4 計算結果の表示

(1) テーブル表示

●「結果出力」メニューから「結果表示」を選択すると、「結果表示」Window が開きます。
 ●画面右側の結果ファイルツリーにて表示したい結果ファイルをダブルクリックすると、右側のワークエリアに計算結果がテーブル形式で表示されます。

BEST Object001															
ファイル(E) 表示(V) 計算実行(E) 結	果出力(<u>0</u>) ヘルプ	0													
マスター 甘:酒 z==*** =ル/曲	結果クラフ出力(位)) =n/=1=1*	~ N6(==)												
	帳票出力		到即步!							1					
 円、利力・一クの設定 ● ○ 気気 ● ○ 割首範囲 ● ○ 割首範囲 ● ○ 律福久グジュール ● ○ 律福久グジュール ● ○ 理福久グジュール ● ○ 理福久グジュール ● ○ 理福久グジュール ● ○ 理報スケジュール ● ○ 認識スケジュール 		20 度正 度引休日 間入がジュール 調力がジュール 調力がジュール 該力をジュール 該力でジュール 該力でジュール	JL-JL												
	《结果表示														X
	774(IL(F)														
	結果ファイル 結果ファイル 論果ファイル ・ bestBu	ilH.csv	Data No	年 -	月 -	8	時 -	分	曜日 -	外気温度 ℃ 気象	外気絶対湿 度 ፪/፪	外気相対湿 度 %	水平面全日 射量 W/m2 复委	水平面7 日射量 W/m2 复 <i>免</i>	
	📕 🐡 🏶 bestBu	ilM.csv	0000/01	2006	1 1	1		0	-1	2.90	0.0017	36.69	0.	0.	
	📗 🐡 🏶 bestBu	ilU.csv /	000/002	2006	1 1	2	2	0	-1	2.80	0.0016	34.79	0.	0.	
	best_re	sult.csv	0/10003	2006	1 1	3	3	0	-1	2.60	0.0016	35.29	0.	0.	
	best_re	sult1D.cs	0000004	2006	1 1	4	1	0	-1	2.00	0.0017	39.12	0.	0.	
	best_re	sult1 H.c	0000005	2006	1 1	5	5	0	-1	1.20	0.0018	43.86	0.	0.	
	best_re	sult1 M.cs	0000006	2006	1 1	ŧ	6	0	-1	1.10	0.0019	46.63	0.	0.	
	Dest_re		0000007	2006	1 1			0	-1	1.30	0.0018	43.55	0.	0.	
	Uestre	sun_o.csv	0000008	2006	1 1	5	3	U	-1	1.60	0.0018	42.62	34.	33.	
		n	0000009	2006	1 1	2	4	0		2.00	0.0019	43.71	85.	83.	-
			0000010	2000	1 1	-	11	0		2.40	0.0018	40.20	144.	142.	-
			0000011	2000	1 1		12	0		2 00	0.0019	39.07	100.	1.70.	-
			000012	2000	1 1		13	0	//	4.40	0.0019	38.82	100	100	-
			0000014	2000	1 1	1	4		-1	4.40	0.0020	36.88	64	64	
			0000015	2006	1 1	1	15	0	-1	5.20	0.0021	38.54	67	67.	
			0000016	2006	1 1	1	16	0	-1	5.20	0.0021	38.54	33.	33.	
			0000017	2006	1 1	1	17	0	-1	5.20	0.0022	40.37	6.	6.	
			0000018	2006	1 1	1	18	0	-1	5.30	0.0023	41.90	0.	0.	
			0000019	2006	1 1	1	19	0	-1	5.20	0.0021	38.54	0.	0.	
			0000020	2006	1 1	2	20	0	-1	5.10	0.0021	38.81	0.	0.	
			0000021	2006	1 1	2	21	0	-1	5.20	0.0021	38.54	0.	0.	
			0000022	2006	1 1	2	22	0	-1	5.10	0.0025	46.17	0.	0.	
			0000023	2006	1 1	2	23	0	-1	4.90	0.0028	52.41	0.	0.	
			0000024	2006	1 1	2	24	0	-1	4.80	0.0026	49.02	0.	0.	
			0000025	2006	1 2	1		0	-2	4.10	0.0028	55.43	0.	0.	- 1
			0000026	2006	1 2	2	2	0	-2	4.20	0.0025	49.17	0.	0.	
			0000027	2006	1 2		3	0	-2	4.00	0.0026	51.85	0.	0.	
			0000028	2000	1 2	4	+	0	-2	4.10	0.0024	47.04	0.	0.	
			0000029	2000	1 2	0	, 5	0 0	-2	4.00	0.0024	47.00	0.	0.	-
						I								•	
					•	ا ⊘ ≣	結 計算	果フ [結	ァイルを 果が表形	ダブルクリ ジ式で表示	リックする。 されます	と、ワーク 。	エリアに		

● ●「結果出力 / 結果表示をクリックします。

図 2-5 出力データ(テーブル表示)

- (2) グラフ表示
 - ●「結果出力」メニューから「結果グラフ出力」を選択すると、「2D グラフの設定」ダイアロ グが表示されます。
 - ❷データファイルを選択して《読込》ボタンをクリックします。
 - ●データの絞込み欄に単位を入植して《絞込》ボタンをクリックすると、データ選択欄に項目 が表示されます。
 - ◎データ選択欄からグラフ表示したい項目を選択し《選択終了》ボタンをクリックします。
 - ●取得データ欄の各項目を設定して《データ取得》ボタンをクリックします。

●Y軸設定欄で項目指標を設定し《グラフ表示》ボタンをクリックするとグラフが表示されます。



図 2-6 出力データ(2D グラフ表示)

- (3) 3 D グラフ表示
 - ●「結果出力」メニューから「結果3Dグラフ出力」を選択すると、「3Dグラフの設定」ダイ アログが表示されます。

❷データファイルを選択して《読込》ボタンをクリックします。

●表示項目選択欄からグラフ表示したい項目を選択し《選択》ボタンをクリックします。

●グラフ種類等を選択します。

●《グラフ表示》ボタンをクリックするとグラフが表示されます。





2 Hello BEST-P !

2.5 物件ファイルの保存

物件ファイルの保存とは、ワークツリーに登録されたモジュール・エレメントを任意の名称 で保存する操作です。

●入力データを保存する場合は「ファイル」メニューから「名前を付けて保存」を選択します。
 ●物件ファイル保存ダイアログにて、保存場所とファイル名を指定し、《了解》ボタンをクリックします。

Documents¥D3091¥デスクトップ¥test.zip State	BEST Object001		
 新規作成(a) 新規作成(b) 計算 注書さ(案存(c)) 名前名付付て(案存(c)) 用、毎日、ケジュール 日、毎日、ケジュール 日、日、日、日、日、日、日、日、日、日、日、日、日、日、日、日、日、日、日、	ファイル(F) 表示(V) 計算実行(E)) 結果出力(O) ヘルブ(H)	
開く(Q) 共通「生菜」酸塩」計算順序 上書含(保存(2)) 共通デークの設定 第5条 日、 気気 日、 昇間スケジュール 予算 ● 季節スケジュール ● 季節スケジュール ● 季節スケジュール ● 季節スケジュール ● 季節スケジュール ● 季節スケジュール ● 時刻度動スケジュール ● 時気を動スケジュール ● 時気を動スケジュール ● 時気を動スケジュール ● 時気を動スケジュール ● 時気を動スケジュール ● 時気を動スケジュール ● う読/値データ保存 ● アイル保存 ● ● ファイル保存 ▼ ● ファイル名 Documents¥03091¥デスクトップ¥test.zip ● 東ロ/ ● 原供	新規作成(N)	ワークスペース	
	開((0)	★通│建築│設備│計算順序│	
 2. 新花行けて保存(△) 第じる(○) 年間スケジュール 年間スケジュール 第節スケジュール 第節スケジュール ● 時気(素) ● 日気(葉) ● 時気(素) ● 日気(葉) ● 時気(素) ● 日気(葉) ● 日気(美) ● 日気((1)) ● 日気((1)) ●	上書き保存(S)	共通データの設定	
PUCACO PUC	名前を付けて保存(A)		
 ● 年間スケジュール ● 季節スケジュール ● 季節スケジュール ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ●	閉じる(C)		
 ● 幸節スケジュール ● 韓夏なジュール ● 韓夏なジュール ● 韓夏なジュール ● 韓夏なジュール ● 韓夏なジュール ● 韓夏などジュール ● 韓夏などジュール ● 韓夏などシュール ● 韓夏などショール ● 韓夏など ● ● ● ● ● <!--</td--><td>□ 🗀 年間スケジュール</td><td>日本 年間スケジュール</td><td></td>	□ 🗀 年間スケジュール	日本 年間スケジュール	
■ ● 時刻(オクシュール ● ● 時刻(安勤)スクジュール ● ● 時刻(唐) 大クジュール ● ● 時刻(唐) 大クジュール ● ● 時刻(唐) 大クジュール ■ ● 時刻(日) 大クジュール ■ ● 市刻(日) + ● 市刻(日) + ● 市刻(日) + ● 市刻(日) + ● ● 市刻(日) + ● ● 市刻(日) + ● ● 市刻(日) + ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ●	由 🧰 季節スケジュール	田 二 季節スケジュール	
■	■国一〇 週間人ケジュール	日一〇 通貨人グジュール	
■ 物件ファイル保存 ファイル保存 ファイル名 Documents¥03091¥デスクトップ¥test.zip 参照	田 🗀 設備データ保存	日 一 設備、一夕保存	
■ 物件ファイル保 ファイル保存 ファイル名 Documents¥03091¥デスクトップ¥test.zip ● 無			
■ 物件ファイル保 ファイル保存 ファイル名 Documents¥03091¥デスクトップ¥test.zip ● 無			
★ 物件ファイル保 ファイル保存 ファイル名 Documents¥03091¥デスクトップ¥test.zip 参照			
ファイル保存 ファイル名 Documents¥03091¥デスクトップ¥test.zip 参照		🚳 物件ファイル保	×
ファイル保存 ファイル名 Documents¥03091¥デスクトップ¥test.zip 参照			
ファイル名 Documents¥03091¥デスクトップ¥test.zip 参照			
ファイル名 Documents¥03091¥デスクトップ¥test.zip 参照			
ファイル名 Documents¥03091¥テスクトップ¥test.zip 参照			
		ファイル名 Documents ¥03091 ¥デスクトップ¥test.zip 参照	
HACE BRANKL			
		実行 取消し	
● 会切ぜかにて			
	♥奓照バタンに(、		
ファイルの保存場所とファイル名を指定した後、	ファイルの保存場所	」とファイル名を指定した後、	
(了解)ボタンをクリックします。	(了解)ボタンをクリ	リックします。	

● ●「名前をつけて保存」をクリックします。

図 2-8 入力データの保存

●「ファイル」メニューから「閉じる」を選択します。

●確認ダイアログの指示に従い、《はい》、《いいえ》より終了します。《取消し》の場合には、 終了をキャンセルします。

「はい」の場合には、ファイル保存ダイアログが表示され、保存が完了次第、BEST を終 了します。



_● ●「ファイル / 閉じる」を選択します。

図 2-9 プログラムの終了

3 GUIの構成

3.1 画面レイアウト

本章では、全体画面構成とその役割について説明します。

- (1) メニュー
 - 「ファイルの読み込み」 「計算実行」 「結果表示」という流れで作業を進めます。
 - ファイル データの保存や既存の入力データ・計算結果の取り込みを実行します。
 - 表示 本バージョンでは使用できません。
 - 計算実行 セットされた入力情報で計算を実行します。
 - 結果出力
 結果をグラフ表示、帳票表示します。
- (2) マスタ情報ツリー

マスタ情報ツリーは、BESTシステムが保持するモジュール(機器等)のマスタファイル を保持・表示します。マスタ情報ツリーでは以下の3種類のツリーが存在します。また原則と してマスタ情報ツリー内で表示されているモジュールはワーク情報ツリーへ登録するために存 在するため、マスタ情報ツリーのモジュール自体に対してのデータ更新はできません。

- 共通情報ツリー 建物や各種設備の共通情報のマスタ部品群です。
- 建築ツリー 建物の熱負荷計算に必要なマスタ部品群です。
- 設備ツリー 設備機器・器具のシステム側のマスタ部品群です。
- (3) ワーク情報ツリー

ワーク情報ツリーは、 物件単位に設置されるモジュール(機器等)を設定するツリーです。 ワーク情報ツリーに登録されたモジュールがシミュレート対象として扱われます。ワーク情報 ツリーには以下の4種類のツリーが存在します。

- 共通情報ツリー ユーザーが指定した建物や各種設備の共通情報の部品群です。
- 建築ツリー ユーザーが指定した建物の熱負荷計算に必要な部品群です。
- 設備ツリー ユーザーが指定した設備機器・器具のシステム側の部品群です。
- 計算順序ツリー 設備ツリーに登録されたモジュールの計算順序の情報郡です。



図 3-1 画面レイアウト

//「物件単位」とはワークツリーに登録されたモジュール全体(シミュレーション対象)を指します。

3.2 メニュー紹介

メニューの紹介では、メニューバー内に表示されている項目に関して説明をします。

- (1) 【ファイル】メニュー
 - ファイルメニューでは以下の項目が操作可能です。
 - 新規作成:新しくシミュレートする物件を登録する時に選択します。
 - 開く: すでに作成済みの物件を読込む時に選択します。
 - 名前を付けて保存:現在、ワークスペースツリーに登録している物件情報を保存する時 に選択します。
 - 閉じる: BEST-P を終了する時に選択します。
- (2) 【表示】メニュー 本バージョンでは使用できません。
- (3) 【計算実行】メニュー
 - 計算実行メニューでは以下の項目が操作可能です。
 - 計算順序ファイル作成:新しく計算順序を作成する時に選択します。
 - シミュレーション実行:計算実行する時に選択します。
- (4) 【結果出力】メニュー

結果出力計算実行メニューでは以下の項目が操作可能です。

- 結果グラフ出力:シミュレート(計算)結果のグラフを表示する時に選択します。
- 結果グラフ3D出力:シミュレート(計算)結果の3Dグラフを表示する時に選択します。
- 帳票出力:ワークツリーに登録されているモジュール・エレメントの情報を PDF ファ イルする時に選択します。
- 結果表示:シミュレート(計算)結果のデータ一覧を表示する時に選択します。
- (5) 【ヘルプ】メニュー
 - ヘルプメニューでは以下の項目が操作可能です。
 - ダイアログフォーマットの自動更新:モジュール・エレメントのフォーマット更新メッセージの表示切替します。
 - バージョン情報:BEST-Pのバージョンを表示します。

4 入力データの作成

入力データの作成では、マスタ情報ツリーからワーク情報ツリーへ登録する手順や代表的なモジュー ル・エレメントの紹介をします。本章での説明内容は「操作・作業の基本の流れ」、「シミュレーショ ン対象物件の新規作成」、「作成済み物件ファイルの読込」、「共通情報の登録」、「建築情報の登録」、「設 備情報の登録」の操作説明をします。モジュール・エレメントの詳細説明は各操作説明書を参照して ください。

4.1 操作・作業の基本の流れ



図 4-1 操作・作業の基本の流れ

インストール直後のBEST Pは、サンプル物件データ(Object001)が登録済の状態で表示されます。

4.2 シミュレート対象物件の新規作成



図 4-2 シミュレート対象物件の新規作成

●「ファイル」メニューから「開く」を選択します。

●作業中の場合は確認ダイアログが表示されますので、《了解》ボタンをクリックします。
 ●物件ファイル選択ダイアログで zip ファイルを指定して《実行》ボタンをクリックします。
 ●既存の入力情報が画面に表示されます。



図 4-3 作成済み物件ファイルの読込み

4 入力データの作成

4.4 共通情報の登録

共通情報の登録とは、ワークツリーの共通シートに設備・建築共に利用するエレメントを登録する 作業です。

各設定項目の詳細は、BEST-P_建物操作マニュアル.pdf をご覧下さい。

(1) 気象データエレメント

●マスタ情報ツリーから登録する部品を指定(ダブルクリック)します。(下図 参照) ❷出現したダイアログに必要な情報を入力し「了解」ボタンを押します。(下図 参照) ●ワークツリーの共通シート気象フォルダにエレメントが登録されます。(下図 参照)

🕌 BEST sample1				<u>-0×</u>	
ファイル(E) 表示(V) 計算実行(E)	結果出力(0) ヘルプ(出)				
	ワークスペー	2			
共通 共通データの設定 白 ○ 気象 小 ● 読録 即 ○ 計算範囲 田 ○ 計算範囲 日 ○ 毎期以休日 回 ○ 年間スケジュール	建 注 二 二 二 二 二 二 二 二 二 二 二 二 二	ム 設備 計算順序 生の設定 泉 範囲 別休日 別スケジュール 花人グジュール			
田 🧰 季節スケジュール	<mark>≦</mark> 気象				×
□ 田 □ 週間スケジュール 田 □ □ 時刻変動スケジュール	データタイプ選択				
田 🧰 設備データ保存	気象データのタイプ	実在年データ	•	気象データのタイプを選択してください	
	気象データ名称	BEST1分值	T	気象データの名称を選択してください	
	気象データ入力				
	在	2006		実在モデータの年を選択してください。	
	4 本	2000		大江中ノーシの中で通知していたい。	
	● 地点番号	363		地点番号を入力してください	
		関東 🗾 東京	▲ 東京 ▲		
	C 緯度経度	緯度 []	経度 [1]	分、秒は、度に換算して入力してください	
	DVDドライブ	Y		拡張アメダス60分値(実在年、標準年データ)をDVD	から
	EPW/Dav/11-42		##82	読み込むときにDVDドライブ(E、Fなど)を選択してくた	ぎい
	LIW//1/20日 記述左告り/マ	1			
	aRat XVak/X17		<u>1</u>		
	(2) 入力データを登録	ますか?			
🕌 BEST sample	21			LOX	
ファイル(E) 表示() マスター	☑ 計算実行(E) 結果出力(0) ヘルプ(<u>H)</u> 「ワークスペース			
共通 建築 設(4]	共通 建築 設備 計算順の	¥		
一 共通データの設	定	□ 共通データの設定 □ □ □ □ 気象	1/		
● <u>気象</u> 田		 ● 気象 → 計算範囲 			
	a.		7		
 田 (二) 年間人グジ 田 (二) 季節スケジ 	ュール ュール	中間スケジュール			
 □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □	ュール スケジュール				
□ 🗁 設備データ	保存	□□□□ 設備データ保存			
<u>µ</u>		112			

図 4-4 気象データの設定

(2) 計算範囲データの設定

●マスタ情報ツリーよりモジュールを選択(ダブルクリック)します。(下図 参照)
 ●出現したダイアログに必要な情報を入力し「了解」ボタンを押します。(下図 参照)
 ●ワークツリーの共通シート計算範囲フォルダにエレメントが登録されます。(下図 参照)



図 4-5 計算範囲データ

4.5 登録データの編集

登録データの編集とは、いったんワーク情報ツリーへ登録したエレメントのデータを変更す る場合の作業です。これ以降の建築・設備とも同じ操作で編集可能となります。

- ●ワーク情報ツリーに登録されたモジュールをダブルクリックすることによりダイアログを表示し、設定内容を確認、変更します。(ここでは特別休日の設定を変更します。)
- ❷《了解》ボタンを押下することにより、ダイアログ上で修正した内容を保存します。

🛃 BEST Object001		- 🗆 ×
ファイル(E) 表示(V) 計算実行(E) 結果出た	1④ ヘルプ任)	
マスター	ワークスペース	
共通 建築 設備	共通 建築 設備 計算順序	
→ 共通データの設定	- 共通データの設定	
	● 特別休日	
□ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □	□	
□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□		
□ □ □ 週間スケジュール	□ 南- 🗁 時刻密動25%	a
□田・□□ 時刻変動人ケジュール おかいへつ		1
月/日	正月休みなどの、が休日を、月/日で入力してください。 1/2 1/2	
	1/3 12/31	
	」「「「「」」」「「」」」「「」」「「」」「「」」「「」」」「「」」	
	削除 選択された月/日を削除します。	
דתג 😲 גדו	ータを登録しますか?	
	了解下一下的话。	
	ほ仔9る场合、' ∫ 解」 選択します。	

図 4-6 登録データの編集

// 原則として、モジュールやエレメントの登録・編集作業は、「共通シート」・「建築シート」・「設備シート」 ともに同じ操作です。本章以降では特別に説明する必要がないケースでは操作の説明は省略しています。 4.6 建築エレメントの登録

建築エレメントの登録では、原則として以下の手順でエレメントの登録作業をします。

- ・建築の基本エレメントを登録します。
- ・エレメントの登録準備としてゾーンの決定・作成が必要となります。
- ・建築の要素エレメントを登録します。
- ・一括仕様設定の要素エレメントの登録と参照を設定します。

各設定項目の詳細は、BEST-P_建物操作マニュアル.pdf をご覧下さい。

(1) 基本エレメントの登録

建築の基本エレメントの登録は、計算時間間隔の設定や外表面などの基本的なエレメントを登録す る作業です。計算時間間隔エレメントのように、1個のみ登録可能であるエレメントも存在します。 本章では、代表的なエレメント(外表面)を以下に示します。

外表面の設定						
🕌 BEST Object001						
ファイル(E) 表示(V) 計算実行(E) 結果出力(Q) マスター) ヘルプ(<u>H</u>) 「ワークスペース					
共通 建築 設備	共通 建築	設備】計算順序】				
 ・ ・シークの設定 ・ ・ ・		2011年7月 2011年7月 2011年7月 2011年7月 2011年7月 2011年7月 2011年7月 2011年7月 2011年7月 2011年7月 2011年7月 2011年7月 2011年7月 2011年7月 2011年7月 2011年7月 2011年7月 2011年7月 2011年7月 2011年7月 2011年7月 2011年7月 2011年7月 2011年7月 2011年7月 2011年7月 2011年7月 2011年7月 2011年7月 2011年7月 2011年7月 2011年7月 2011年7月 2011年7月 2011年7月 2011年7月 2011年7月 2011年7月 2011年7月 2011年7月 2011年7月 2011年7月 2011年7月 2011年7月 2011年7月 2011年7月 2011年7月 2011年7月 2011年7月 2011年7月 2011年7月 2011年7月 2011年7月 2011年7月 2011年7月 2011年7月 2011年7月 2011年7月 2011年7月 2011年7月 2011年7月 2011年7月 2011年7月 2011年7月 2011年7月 2011年7月 2011年7月 2011年7月 2011年7月 2011年7月 2011年7月 2011年7月 2011年7月 2011年7月 2011年7月 2011年7月 2011年7月 2011年7月 2011年7月 2011年7月 2011年7月 2011年7月 2011年7月 2011年7月 2011年7月 2011年7月 2011年7月 2011年7月 2011年7月 2011年7月 2011年7月 2011年7月 2011年7月 2011年7月 2011年7月 2011年7月 2011年7月 2011年7月 2011年7月 2011年7月 2011年7月 2011年7月 2011年7月 2011年7月 2011年7月 2011年7月 2011年7月 2011年7月 2011年7月 2011年7月 2011年7月 2011年7月 2011年7月 2011年7月 2011年7月 2011年7月 2011年7月 2011年7月 2011年7月 2011年7月 2011年7月 2011年7月 2011年7月 2011年7月 2011年7月 2011年7月 2011年7月 2011年7月 2011年7月 2011年7月 2011年7月 2011年7月 2011年7月 2011年7月 2011年7月 2011年7月 2011年7月 2011年7月 2011年7月 2011年7月 2011年7月 2011年7月 2011年7月 2011年7月 2011年7月 2011年7月 2011年7月 2011年7月 2011年7月 2011年7月 2011年7月 2011年7月 2011年7月 2011年7月 2011年7月 2011年7月 2011年7月 2011年7月 2011年7月 2011年7月 2011年7月 2011年7月 2011年7月 2011年7月 2011年7月 2011年7月 2011年7月 2011年7月 2011年7月 2011年7月 2011年7月 2011年7月 2011年7月 2011年7月 2011年7月 2011年7月 2011年7月 2011年7月 2011年7月 2011年7月 2011年7月 2011年7月 2011年7月 2011年7月 2011年7月 2011年7月 2011年7月 2011 2011 2011 2011 2011 2011 2011 201				<u>×</u>
 ● 非連成計算 空調運転モード ● 建築計算のデータ保存 ① 一	田 🙆 3	方位角*1			[〕] 壁面方(位角を入力して下さい。
□- 🗁 一括仕様設定	⊡ 🗀 →括	傾斜角*2		90	[*]壁面傾	斜角を入力して下さい。
		外部日除け名*3		-	外部日日	除け名を選択して下さい。
		地表面反射率*4			[-]	
● BEST Object ファイル(空)表示(マスター 共通 建築「酸値 ● 建築データの設 ● 計算時 ● 計算時 ● 計算時 ● 計算時 ● 計算時 ● 計算時 ● 計算時 ● 計算時 ● 計算時 ● 読録(書) ● 注意既 ● 運業	D01 2) 計算実行 1 定 定 2 2 3 は 1 1 空空即運転 ま う ー 人 ・ 日 1 1 二 一 こ ・ こ ・ こ ・ ・ 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、	*1 例)南:0度、西: *2 例)水平屋根:0 *3 外部日除けが無 *4 地表面反射率の ? 入力データ	:90(-270)度、東:2)度、鉛直壁:90度、 (い場合は、空白を注 の入力を省略をすると な登録しますか?	70(-90)度 ビロティ床:180度 壁沢してください。 c、「軒高など」の画面で? 了解 取消	く力した標準値が iし	仮定されます。
□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□	iπ		外表面(四) 連成計算 空間運動 2018 2017 - 少保存			

図 4-7 外表面の設定

(2) ゾーンの準備と設定

要素エレメントの登録では、準備としてワーク情報ツリーの建築データ設定シートにゾーンの設定 をする必要があります。その後、要素エレメントをゾーンに登録します。基本的な操作としては、以 下の手順でゾーンを設定します。

・「建物データの設定」ツリーの「基準階」を右クリックし、「室グループ追加」を選択します。

・「室グループ」を登録します。

・「室グループ」を右クリックし、「室追加」を選択する。

- ・「室」を登録します。
- ・「室」を右クリックし、「ゾーン追加」を選択する。
- ・「ゾーン」を登録します。

上記の操作を繰り返して計算に必要な室グループからゾーンを作成します。



図 4-8 室グループの追加

(3) 要素のエレメント登録

ゾーンの準備が終了後、要素エレメントの登録をします。登録の際には、どのゾーンに登録する かを決定するため、先にゾーンを選択する必要があります。

- ・ゾーンをクリックして選択済み(青色の状態)状態にします。
- ・マスターツリーの要素フォルダ内にあるエレメントをダブルクリックして要素ダイアログを表示します。
- ・要素のデータ設定後、了解ボタンを押下することで、ゾーンに登録します。



図 4-9 外壁の設定

(4) 室グループ、室、ゾーンのコピー方法

室グループ、室、ゾーンはコピーして他のゾーンに同じような仕様を割り当てることが可能です。 以下の手順でコピー操作を行ないます。ここでは、室グループをコピーする場合の操作方法を説明し ます。同じ手順にて、室、グループもコピーを行なえます。

- ・「室グループ」を作成します。
- ・コピーする「室グループ」を右クリックして「コピー」を選択します。
- ・コピー先として作成した「室グループ」を選択します。
- ・「室」を右クリックし、「ゾーン追加」を選択します。
- ・コピーされた内容について、必要に応じて修正を行ないます。



図 4-10 室グループのコピー

(5) 一括仕様設定のエレメント登録

一括仕様設定のエレメントとは、建築シートに登録された各エレメントが共通で利用できるエレメントを指します。例えば、各ゾーンに登録された人体エレメントが同じ条件である場合、一括 仕様設定に登録した人体エレメントを参照するように設定するとすべて同じ条件の人体エレメントを登録したことと同じとなります。また登録手順は共通情報と同じ手順です。



図 4-11 一括仕様設定関連図 1

[ゾーンに登録	禄した人体エレメント]		[一括仕様設定に登録した人体エレメント]				
 人体 A称 人体 							
一括仕様設定名 在室率スケジュール名	→括仕様(人体) 人体発熱スケジュール	(参照	在室率スケジュール名 人数*1	人体発熱スケジュール ▼ 0.15	[人/m²]		
人数*1 人数*2	0.15	[人/m²] [人]	代謝量(夏期) 代謝骨(冬期)	1.2	[Met] [Met]		
代謝量(夏期)	1.2	[Met]	代謝量(中間期)	12	[Met]		
代謝量(冬期) (代謝量(中間期)	12	[Met] [Met]	若衣量(夏期) 若衣量(冬期)	0.6	[clo] [clo]		
着衣量(夏期)	0.6	[clo]	着衣量(中間期)	0.8	[clo]		
				1.2.M			

図 4-12 一括仕様設定関連図 2

パエレメント毎に固有のデータを設定する場合は、「一括仕様設定名」を空欄(未選択)として ください。 4.7 設備モジュールの登録

設備モジュールは、マスタ情報ツリー側の設備シートに「空調・換気設備」や「電気設備」など が登録されています。必要に応じて下記の手順でワーク情報ツリーへ登録作業をします。

- ・設備のモジュールをワークツリーの設備シートに登録します。
- ・登録したモジュールの接続をします。
- (1) 設備のモジュール登録

ここでは、代表的なモジュール(熱源機器/ヒートポンプチラー)の例を示します。



図 4-13 熱源機器 / ヒートポンプチラーの設定

(2) モジュールの接続

設備モジュールをワークスペースへ登録後、各モジュール(機器)の接続を設定します。

●接続するモジュールを右クリックし、プロパティ(シーケンス接続)を選択します。



図 4-14 プロパティ (シーケンス接続)の選択

●接続情報ダイアログより接続する論理端子名を選択し、接続先の機種・論理名を選択します。



図 4-15 プロパティ (シーケンス接続)の選択

●接続情報ダイアログより接続する論理端子名を選択し、接続先の機種・論理名を選択します。



図 4-16 接続先の機種・論理名の選択

5 その他

5.1 計算順序

計算順序は、設備モジュールの計算順序を変更するために利用します。デフォルトの計算順序を利 用する場合は、新規に計算順序ファイルを作成する必要はありません。また、新規に追加した計算順 序ファイルは、シミュレーション実行ダイアログで選択可能となります。尚 デフォルトの計算順序 は変更ができません。

(1) 新規の計算順序ファイルを作成

	行(日) 結果出力(の) 人口づ(日)	▲ 宮崎序ファイル作成	×
共通「建筑」設備」「ジネ	11/-ション実行	1	
→ 土通デーカの設定			
田 〇 気象		名称 ドレルマル用	
🗉 🧰 計算範囲			
🗉 🗀 特別休日			
🔲 🖻 🥥 年間スケジュール		2 知道眼沿空ウァイルを作成しますか?	
田・□□ 李節スケジュール		POMEXAE / TAVET FAR OC STATE	
■ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □		TRANKI	
田 🗀 設備データ保存			
	図 5-1-1 計算順層	ネファイルの作成	
(2) 計算順序フラ	ァイルの編集	● ダブルクリックで	
		編集画面表示します。	
🕌 BEST sample1			
ファイル(E) 表示(V) 計算実	行(E) 結果出力(Q) ヘルブ(H)		
マスター	ワークスペース		
共通 建築 設備	● 共通 建築 設備 計算順	序	
///● ガラフ 散布図(BestElectricity ALL 合計質順序		
● グラフ 散布図(ZoneEnv)		
● グラフ 散布図(BestBrine)		
● グラフ 水蕃熱樽	ווי קרחלשל עלשט ווי קרחלים ווי קרחלים ווי קרחלים ווי קרחלים ווייקרחלים ווי		
● グラフ 氷蕃熱相	当ビルマル用 計算應序変更		×
● グラフ トレンド	計算順序名称 ビルマル用	-	
● 計測 BestAir/			
● aT/RJ Bestwat	構成 一		
The stand designed			
	H C [1 10]	No. フォルダ 機器名	_
		No. フォルダ 供器名 1 基準階 デンブレート ビルマル室外LINE_S	
	⊕ [110] ⊕ [1120] ⊕ [2130] ⊕ [2130]	No. フォルダ 機器名 1 基準階 テンプレート ビルマル室外LINE_S . 2 基準階 テンプレート ビルマル室内LINE_SE .	<u> </u>
	⊕ [110] ⊕ [11_20] ⊕ [21_30] ⊕ [31_40]	No. フォルダ 機器名 1 基準階 デンブレート ビルマル室外LINE_S . 2 基準階 デンブレート ビルマル室内LINE_SE . 3 基準階 デンブレート ビルマル室内LINE_SI .	<u> </u>
	⊕[10] ⊕[1120] ⊕[2130] ⊕[3140]	No. フォルダ 機器名 1 基準階 デンブレート ビルマル室外LINE_S . 2 基準階 デンブレート ビルマル室内LINE_SE . 3 基準階 デンブレート ビルマル室内LINE_SI . 4 基準階 デンブレート ビルマル室内LINE_SS .	
	⊕[10] ⊕[1120] ⊕[2130] ⊕[3140]	No. フォルダ 機器名 1 基準階 デンブレート ビルマル室外LINE_S . 2 基準階 デンブレート ビルマル室内LINE_SE . 3 基準階 デンブレート ビルマル室内LINE_SI . 4 基準階 デンブレート ビルマル室内LINE_SS . 5 基準階 デンブレート ビルマル室内LINE_SW . 4 新学路 テンブレート ビルマル室内LINE_SS .	
	 ⊕ ☐ [1.10] ⊕ ☐ [1.20] ⊕ ☐ [21.30] ⊕ ☐ [31.40] 	No. フォルダ 機器名 1 基準階 デンブレート ビルマル室外LINE_S 2 基準階 デンブレート ビルマル室内LINE_SE 3 基準階 デンブレート ビルマル室内LINE_SI 4 基準階 デンブレート ビルマル室内LINE_SS 5 基準階 デンブレート ビルマル室内LINE_SSW 6 基準階 計算結果の記録の指定200803 7 基準階 Stop and Pure	
	⊕ ☐ [1.10] ⊕ ☐ [1.20] ⊕ ☐ [21.30] ⊕ ☐ [31.40]	No. フォルダ 機器名 1 基準階 デンブレート ビルマル室外LINE_S 2 基準階 デンブレート ビルマル室内LINE_SE 3 基準階 デンブレート ビルマル室内LINE_SI 4 基準階 デンブレート ビルマル室内LINE_SS 5 基準階 デンブレート ビルマル室内LINE_SW 6 基準階 デンブレート ビルマル室内LINE_SW 7 基準階 Stop and Run 8 基述階 大び pand Run 8 基述階 Stop and Run	
	⊕ [110] ⊕ [11_20] ⊕ [21_30] ⊕ [31_40]	No. フォルダ 機器名 1 基準階 デンブレート ビルマル室外LINE_S 2 基準階 デンブレート ビルマル室内LINE_SE 3 基準階 デンブレート ビルマル室内LINE_SI 4 基準階 デンブレート ビルマル室内LINE_SS 5 基準階 デンブレート ビルマル室内LINE_SW 6 基準階 計算結果の記録の指定200803 7 基準階 Stop and Run 8 基準階 デンブレート 9 基準階 デンブレート 9 基準階 Stop and Run	
	 ⊕ [n_10] ⊕ [11_20] ⊕ [21_30] ⊕ [31_40] 	No. フォルダ 機器名 1 基準階 デンブレート ピルマル室外LINE_S 2 基準階 デンブレート ピルマル室内LINE_SE 3 基準階 デンブレート ピルマル室内LINE_SI 4 基準階 デンブレート ピルマル室内LINE_SS 5 基準階 デンブレート ビルマル室内LINE_SSW 6 基準階 計算結果の記録の指定200803 7 基準階 テンブレート 9 基準階 テンブレート 9 基準階 テンブレート 9 基準階 テンブレート 9 基準階 テンブレート 10 基準器 大学校 110 基準階 大学校	
	 ➡ [n_10] ➡ [11_20] ➡ [21_30] ➡ [31_40] 	No. フォルダ 機器名 1 基準階 デンブレート ビルマル室外LINE_S 2 基準階 デンブレート ビルマル室内LINE_SE 3 基準階 デンブレート ビルマル室内LINE_SI 4 基準階 デンブレート ビルマル室内LINE_SS 5 基準階 デンブレート ビルマル室内LINE_SS 6 基準階 計算結果の記録の指定200803 7 基準階 Stop and Run 8 基準階-デンブレート tmシステム用気象(外気 雨水 日射 風)_SE 9 基準階-デンブレート tmシステム用気象(外気 雨水 日射 風)_SS 10 基準階-デンブレート tmシステム用気象(外気 雨水 日射 風)_SS 11 基準階-デンブレート tmシステム用気象(外気 雨水 日射 風)_SW	
	⊕ [n_10] ⊕ [11_20] ⊕ [21_30] ⊕ [31_40]	No. フォルダ 機器名 1 基準階 デンブレート ビルマル室外LINE_S 2 差準階 デンブレート ビルマル室内LINE_SE 3 基準階 デンブレート ビルマル室内LINE_SI 4 基準階 デンブレート ビルマル室内LINE_SS 5 基準階 デンブレート ビルマル室内LINE_SS 6 基準階 計算結果の記録の指定200803 7 基準階 Stop and Run 8 基準階-テンブレート tmシステム用気象(外気 雨水 日射 風)_SE 9 基準階-テンブレート tmシステム用気象(外気 雨水 日射 風)_SS 10 基準階-テンブレート tmシステム用気象(外気 雨水 日射 風)_SS 11 基準階-テンブレート tmシステム用気象(外気 雨水 日射 風)_SW 12 基準階-テンブレート tmシステム用気象(外気 雨水 日射 風)	
	 ➡ [h_10] ➡ [h_20] ➡ [21.30] ➡ [31.40] 	No. フォルダ 機器名 1 基準階 デンブレート ビルマル室外LINE_S 2 差準階 デンブレート ビルマル室内LINE_SE 3 基準階 デンブレート ビルマル室内LINE_SI 4 基準階 デンブレート ビルマル室内LINE_SS 5 基準階 デンブレート ビルマル室内LINE_SW 6 基準階 デンブレート ビルマル室内LINE_SW 7 基準階 Stop and Run 8 基準階 Stop and Run 8 基準階 テンプレート 9 基準階 テンプレート 10 基準層 上算法 11 基準階 テンプレート 12 基準階 テンプレート 12 基準階 テンプレート	
	 ➡ [h_10] ➡ [h_20] ➡ [21.30] ➡ [31.40] 	No. フォルダ 機器名 1 基準階 デンブレート ビルマル室外LINE_S 2 基準階 デンブレート ビルマル室内LINE_SE 3 基準階 デンブレート ビルマル室内LINE_SI 4 基準階 デンブレート ビルマル室内LINE_SS 5 基準階 デンブレート ビルマル室内LINE_SW 6 基準階 デンブレート ビルマル室内LINE_SW 7 基準階 デンブレート ビルマル室内LINE_SW 8 基準階 デンブレート ビルマル室内LINE_SW 9 基準階 デンブレート ビルマル室内LINE_SW 10 基準階 テンブレート 10 基準階 デンブレート 11 基準階 デンブレート 12 基準階 デンブレート 12 基準階 デンブレート 13 14 15 16 17 18 10	
	 ➡ [h_10] ➡ [h_20] ➡ [21.30] ➡ [31.40] 	No. フォルダ 機器名 1 基準階 デンブレート ビルマル室外LINE_S 2 基準階 デンブレート ビルマル室内LINE_SE 3 基準階 デンブレート ビルマル室内LINE_SI 4 基準階 デンブレート ビルマル室内LINE_SS 5 基準階 デンブレート ビルマル室内LINE_SW 6 基準階 計算結果の記録の指定200003 7 基準階 Stop and Run 8 基準階-テンブレート tmシステム用気象(分気 雨水 日射 風)_SE 9 基準階-テンブレート tmシステム用気象(分気 雨水 日射 風)_SS 10 基準階-テンブレート tmシステム用気象(分気 雨水 日射 風)_SS 11 基準階-テンブレート tmシステム用気象(分気 雨水 日射 風)_SW 12 基準階-テンブレート tmシステム用気象(分気 雨水 日射 風) 13 算版 創版	
	÷ [h_10] ÷ [h_20] ÷ [21.30] ÷ [31.40] ÷ [31.40] ÷ [31.40]	No. フォルダ 機器名 1 基準階 デンブレート ビルマル室外LINE_S 2 基準階 デンブレート ビルマル室内LINE_SE 3 基準階 デンブレート ビルマル室内LINE_SI 4 基準階 デンブレート ビルマル室内LINE_SS 5 基準階 デンブレート ビルマル室内LINE_SW 6 基準階 計算結果の記録の指定200003 7 基準階 Stop and Run 8 基準階 テンブレート 9 基準階 テンブレート 9 基準階 テンブレート 9 基準階 テンブレート 10 基準階 テンブレート 11 基準階 テンブレート 12 基準階 テンブレート 13 基準階 テンブレート 14 基準階 テンブレート 15 10 基準階 16 第準階 テンブレート 17 大学階 アンブレート 18 東洋階 テンブレート 19 国、SS 11 11 基準階 デンブレート 12 基準階	
	 ● 「n-10] ● [1-20] ● [21.30] ● [31.40] ⑦ (31.40] ⑦ (31.40] ⑦ (31.40] ⑦ (31.40]	No. フォルダ 機器名 1 基準階 デンブレート ビルマル室外LINE_S 2 基準階 デンブレート ビルマル室内LINE_SE 3 基準階 デンブレート ビルマル室内LINE_SI 4 基準階 デンブレート ビルマル室内LINE_SS 5 基準階 デンブレート ビルマル室内LINE_SW 6 基準階 計算結果の記録の指定200603 7 基準階 Stop and Run 8 基準階 テンブレート 9 基準階 テンブレート 9 基準階 テンブレート 9 基準階 デンブレート 10 基準階 テンブレート 11 基準階 テンブレート 12 基準階 デンブレート 13 基準階 テンブレート 14 基準階 テンブレート 15 はのシステム用気象(分気雨水 日射風)_SS 11 基準階 デンブレート 12 基準階 デンブレート 13 単版 新田 14 第10 第10	
	 ● 「h_10] ● [1,20] ● [21,30] ● [31,40] ⑦ (31,40] ⑦ (31,40] ⑦ (31,40] ⑦ (31,40)	No. フォルダ 機器名 1 基準階 デンブレート ビルマル室外LINE_S 2 基準階 デンブレート ビルマル室内LINE_SE 3 基準階 デンブレート ビルマル室内LINE_SI 4 基準階 デンブレート ビルマル室内LINE_SS 5 基準階 デンブレート ビルマル室内LINE_SW 6 基準階 計算結果の記録の指定200003 7 基準階 Stop and Run 8 基準階 テンブレート 9 基準階 テンブレート 9 基準階 テンブレート 9 基準階 テンブレート 10 基準階 テンブレート 11 基準階 テンブレート 12 基準階 テンブレート 13 重準階 テンブレート 14 基準階 テンブレート 15 10 基準階 16 第準階 テンブレート 17 上準階 テンブレート 18 東洋階 テンブレート 19 国・国・国・国・ 11 基準階 テンブレート 12 基準階	
	 ● 「h_10] ● [1,20] ● [21,30] ● [31,40] ③ [31,40] <i>F</i> 75hルト順序に戻す 7hルダ単位: 10 ▼	No. フォルダ 機器名 1 基準階 デンブレート ビルマル室外LINE_S 2 基準階 デンブレート ビルマル室内LINE_SE 3 基準階 デンブレート ビルマル室内LINE_SI 4 基準階 デンブレート ビルマル室内LINE_SI 5 基準階 デンブレート ビルマル室内LINE_SW 6 基準階 デンブレート ビルマル室内LINE_SW 7 基準階 デンブレート ビルマル室内LINE_SW 8 基準階 テンブレート ビルマル室内LINE_SW 9 基準階 テンブレート ビルマル室内LINE_SW 9 基準階 テンブレート ビルマル室内LINE_SW 10 基準階 テンブレート 10 基準階 テンブレート 11 基準階 テンブレート 12 基準階 テンブレート 12 基準階 テンブレート 12 基準階 テンブレート 13 創版 14 副 15 10 16 新学階 17 レート 18 風) 19 国) 10 第	
	 ● [1.10] ● [1.20] ● [21.30] ● [31.40] ⑦ 7 3 ル ド順序に戻す 7 3 ル ダ単位: 10 ▼	No. フォルダ 機器名 1 基準階 デンブレート ビルマル室外LINE_S 2 基準階 デンブレート ビルマル室内LINE_SE 3 基準階 デンブレート ビルマル室内LINE_SI 4 基準階 デンブレート ビルマル室内LINE_SI 5 基準階 デンブレート ビルマル室内LINE_SW 6 基準階 デンブレート ビルマル室内LINE_SW 6 基準階 デンブレート ビルマル室内LINE_SW 7 基準階 Stop and Run 8 基準階 テンブレート 9 基準階 テンブレート 9 基準階 テンブレート 9 基準階 テンブレート 10 基準階 テンブレート 11 基準階 テンブレート 12 基準階 テンブレート 12 基準階 テンブレート 13加 削除 13加 削除	

図 5-1-2 計算順序ファイルの編集

5.2 帳票出力

帳票出力では、ワーク情報ツリーに登録された各エレメントの一覧をPDFファイルに出力することができます。帳票出力ダイアログで出力する項目を選択後、出力先フォルダを指定してください。 《了解ボタン》を選択すると出力したファイル名が出力終了ダイアログに表示されます。



!! 建築の基本エレメントと一括仕様設定エレメントは、次期バージョンにて出力する予定です。

5.3 モジュール・エレメントの自動更新

ワークツリー上のモジュールやエレメントを編集する際に、BEST-P は自動で旧バージョンで作成 された物件データであると判断します。旧バージョンで作成されたモジュール中には、最新のモジュ ールとデータ項目が異なるものも存在するため、「更新メッセージ」を表示してマスター側のモジュー ルと同じフォーマトにすることができます。

(1) フォーマット更新確認



図 5-3-1 モジュール・エレメントの更新

(2) フォーマット更新確認メッセージの切り替え

物件データの更新作業中に「更新メッセージ」を表示しないで無条件にマスター側と同じフ オーマットとする場合は、ヘルプメニュー内の 「モジュール・エレメントの自動更新」をチ ェックオンとすることで可能となります。

🕌 BEST Object001					
ファイル(E) 表示(V) 計算実行(E) 結果出力(Q)	ヘルプ(日)		•	チェックUNと9る自動で新ノオーマ
228-	ワークスペース	✓ ダイアログフォーマッ	の自動更新		ットでダイアロクを表示します。
共通 建築 設備 建築データの設定 中 → 基本 日 → 要素 → ◆ 外壁	 共通 建築 設 建築データの ● ● 基本 ● ● 基準階 ○ ● ● 案/川 	バージョン情報(<u>い</u>) RÆ .ーブ(lt.)			

図 5-3-2「更新メッセージ」の表示切替

「更新メッセージ」表示後、《はい》を選択してもまったく同じフォーマットでダイアログが表示 される場合があります。その場合は表示内容ではなく、データ項目の取り扱いなどが更新(例: 整数から浮動小数点へ)されている場合もあります。

モジュール・エレメントの自動更新は Ver0.2.7 以前に作成された物件ファイルには適用されません。Ver0.2.7 以前で作成した物件ファイルはマイグレーションツールを使って Ver0.2.7 までアップグレードしてからご利用ください。

// 「内壁エレメント」や「ゾーン間換気エレメント」

Ver0.2.9 より建築データ設定ツリーに登録されている「内壁エレメント」や「ゾーン間換気エレ メント」などは、隣接するゾーンをコンボボックスで指定できるようになりました。以前のバー ジョンで作成された「内壁エレメント」や「ゾーン間換気エレメント」でも、そのままでも利用 可能ですが、新フォーマットで提供しているコンボボックスのフルパス指定のゾーンを指定する ことによりゾーン名の変更等の操作でも自動対応するようになっています。出来るだけ新フォ ーマットで利用することをお勧めいたします。 バージョン情報をご確認いただけます。

●「ヘルプ」メニューから「バージョン情報」を選択すると、ダイアログが表示されます。

❷《了解》ボタンをクリックすると、バージョン情報表示画面が消えます。

	● ●「ヘルプ/バージョ クリックします。	ン情報」を
🕌 BEST Object001		
ファイル(E) 表示(V) 計算実行(E) 結果出力	0 NIJ(H)	
278-	□ バージョン情報(型)	
共通 建築 設備	共通 建築 設備 計算順序	
 ○ 共通データの設定 ● ○ 計算範囲 ● ○ 計算範囲 ● ○ 年間スケジュール ● ○ 年間スケジュール ● ○ 毎別次方 ● ○ 週間スケジュール ● ○ 時刻変動スケジュール ● ○ 該備データ保存 	 → 共通データの設定 → 気象 → 計算範囲 → 特別休日 → 年間スケジュール ● → 年間スケジュール ● → 時刻変動スケジュール パージョン情報 	
	THE BEST	
	Professional Edition	
	Ver.0.2.5	ヺゖ゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚
	LastUpdate 2009/1/15	こ使用中の バージョン名です。
	(C) Copyright 2007-2009 IBEC	
	● 🛛 (了解)をクリック 表示画面が消え	7すると、 .ます。